

73 回生 課題研究中間発表①

2月9日、第2回学校公開の一環として73回生による1回目の中間発表が行われました。中間発表はゼミ内で現在の研究成果や、今後の方向性を発表し、頂いた意見を元に今後の研究を修正していく目的で行われます。中間発表までの課題研究の時間では2年生から経験談を交えた指導をしていただき、当日は他校の先生方の見学する中、2年生や担当の先生との質疑が行われました。

《各ゼミの様子》

物理ゼミ どの班も事前準備をしっかりと行ったため、内容の濃い発表会だった。質疑応答も活発に行われ、鋭い質問も多かったため、発表者も自分たちの研究の質を高める良い機会になった。先行研究の調査や実験方法、データの処理の仕方の面で先生方から講評をいただいた。

化学ゼミ 1年生からも質問が出て、多くの指摘があったため、それらはこれからの発表で改善されていくと思う。特に、発表方法に対しての指摘が多く、これから慣れていく必要がある。講評として、物質が持つ特性によって実験に影響が生じる可能性など、自分たちが知らなかったことを教えていただいた。

生物ゼミ どの班も発表方法をよく考え、発表者も聞き手も互いに学ぶことができた。先輩方から多くの質問を受けたが、うまく答えられた班と答えられなかった班があり、班ごとの発表の準備に差があったように思われた。質疑応答は、活発に行われ、決められた時間を超えてしまうこともあった。実現できるか分からないという講評をいただいた。



地学ゼミ 中間レポートを使用して発表を行った。先輩方にはレポートの細部まで見ていただき、実験の目的や意義に対しての質問や研究方法に関する指摘を良い雰囲気でも討議した。発表者の多くは質問に対する回答に追われていた。先生からは、それぞれの班のテーマに関する知識を教えられたり、実験方法に関するアドバイスをいただいたりした。発表者が理解しきれていない部分を指摘され、困惑してしまっただが、先生から慰めの言葉をいただいた。

数学ゼミ 先輩方から研究の具体的な改善案を教えていただき、学ぶことが多かった。発表会では程よい緊張感の中で行われた。質疑の中では特に、言葉の定義の仕方や研究の中での行動の目的に関する質問が多かった。先生からはタイトルなどに使用する言葉の正しい使い方に気を付けるようにというアドバイスをいただいた。

情報ゼミ どの班も独自の視点で研究テーマを設定し、発表していた。そのため、どれも興味深い内容であった。先輩方からは研究の目的が明確ではない、などの的確な指摘をいただいた。これから研究を進めていく中で、研究結果を他者に発信し、発展させていく方法は各班が共通して考えるべきだと感じた。中間発表で見つけた課題を次につなげて、より完成度の高い研究を追求していきたい。

国語ゼミ 研究結果を社会的な問題の解決などに繋げていく必要があるため、研究の目的を明確にしなければならないことを学んだ。国語ゼミではアンケートや調査などで研究を進めていくため、結果を数値化できるような方法を考える必要があると学んだ。また、曖昧な表現は説得力に欠けるため、数値的に示すべきである。先行研究と自分たちの研究の境目をはっきりさせるとよいことを学んだ。全員が集中して発表を聞き、先生や先輩方から多くの質問や意見をいただき、充実した時間だった。

公民ゼミ 発表者側も真剣に発表を行い、聞き手側も真剣に発表を聞いていた。質疑応答も活発に行われた。アンケートの内容や発表に用いる言葉、高校生にふさわしい発表について指摘を受けた。公民ゼミは研究できる範囲の広さゆえに各々の発表の内容は浅かったため、今後はそれぞれの班が内容を濃いものにしていく必要がある。どのように結論づけるのかが明確でなければ、研究の方向性を見失ってしまうため、まとめていく必要がある。今回の中間発表では気づいたことが多かった。

地歴ゼミ 多くの質問が出て、先生方から班ごとに的確なアドバイスをいただいた。そのため、今後の課題が明確になったり、新しい課題を発見できたりした班も多かった。また、初めて人前で課題研究の発表をしたことにより、これから行っていく学術研究への実感が湧いた人もいた。しかし、質問に論理的に返答できた班は少なく、情報不足だった班も多かった。これからの発表では、正確な情報を班全体で把握し、質問に答えることができるようにする必要がある。単なる調べ学習にしないためにも、今回の発表を十分に生かし、より質の高い発表をできるように各班が努めていく必要がある。

英語ゼミ 初めての英語での発表ということもあり不安な表情をしていた人が多かったが、どの班も円滑に発表を進められていた。発表後の質問でも、72回生、73回生の両方から多くの質問が出て、活発な意見交換が行われたのでいい機会になった。

保体ゼミ 具体的な研究方法が定まっていない班もあったが、序論、仮説、今後の方向性などを各班がしっかり伝えられていてよかった。しかし、原稿を見ながらの発表であったり、声が小さかったりするなど各班で課題が多くみられた。また、72回生の先輩方からレベルの高い質問等も出て、とても有意義な発表会であったと思う。

音楽ゼミ 各班テーマの設定はよかったもの多かったが、計画の具体性などに課題が見られた。例えば、調査する上での具体的な基準や、具体的な調査対象などが明らかでない班が多かった。また、事前準備が足りていない班もあり、今回見つけた課題を解決していくことが重要だと感じた。

家庭ゼミ 発表資料が見つらい班があった。また、質疑応答が少ないように感じられた。先生方からは研究の範囲やデータの処理の方法について質問やアドバイスをいただいた。自分たちでは分かっているけど伝わっていないことがあることを学んだ。数値化することが難しい教科ではあるが、見ている人を説得させられるような研究をしていきたい。

災害研究ゼミ 全員が発表の内容をより深く知ろうと積極的に参加していたように思えた。しかし、質問が少ないようにも思えた。1年生は遠慮しがちだったし、2年生からのアドバイスがもっと欲しいと思った。質疑応答をしやすい雰囲気を作り出せるように周りと話し合うなどの工夫もできたと思う。

72回生台湾研修報告会

3月5日に、12月10日から12月16日にかけて行われた台湾研修に参加した72回生の先輩方の報告会が行われました。台湾で訪問した大学の講義や、現地の高校で行われた活動について話してくださいました。先輩方は皆、台湾研修に参加したことに誇りを持って、楽しそうに話していました。先輩方はそれぞれ台湾研修に参加した理由を話していましたが、皆が皆、英語が得意というわけではなかったようで、行ってみたいという単純な理由で参加した先輩もいたようでした。しかしどの参加者も、大変なこともあったが、この台湾研修はとても有意義なものだったと話してくださいました。

来年度、73回生が参加できる台湾研修の募集人数は、今年度の72回生の参加人数よりも多くなることが予定されているそうです。貴重な経験ができるチャンスが増えるということなので、積極的に参加を目指しましょう。

《編集後記》

1年生の皆さんは初めてとなる課題研究の発表お疲れ様でした。そして2年生の先輩方は口頭発表までのご指導ありがとうございました。これまでの先輩方からのアドバイスや今回の口頭発表での質疑応答を最大限に活かして、台湾でも堂々と発表できるような、よりよい課題研究を行えるようにしていきたいと感じました。1年生はこの先の東京研修などにも向けて、さらに課題研究を発展させていけるように頑張ってください。

